

令和 3 年度

道民・利用者意見把握調査

調査結果報告書

令和 4 年 3 月



地方独立行政法人

北海道立総合研究機構

— 目 次 —

◆調査の趣旨、調査の種類・項目・対象者	2
◆回答状況	3
1. 道民意見把握調査	4
2. 利用者意見把握調査【共同研究・受託研究】	11
3. 利用者意見把握調査【技術支援制度】	15
4. 利用者意見把握調査【知的財産】	18

◆調査の趣旨

本調査は、道総研の第3期中期計画・年度計画（令和3年度）における「第2-3-(2) 道民意見の把握及び業務運営の改善」を踏まえ、道民の皆様及び道総研の研究、技術支援、知的財産などの各種制度を利用された方から幅広く意見を聴取し、その結果を業務の実施方法や運営の改善などに反映させることを目的に実施したものです。

◆調査の種類・項目・対象者

(1) 道民意見把握調査

	イベント参加者	市町村、関係団体
対象者	道総研が実施したイベントに参加された方	道内市町村、各種関係団体
調査方法	アンケート方式により実施した。	
実施期間	令和2年11月～令和3年10月	令和3年3月～4月

(2) 利用者意見把握調査

	共同研究・受託研究	技術支援	知的財産
対象者	令和2年度に北海道立総合研究機構（道総研）と共同研究・受託研究を実施した大学、企業、団体等 （令和3年度に継続して研究を行っている機関を含む）	令和3年度に北海道立総合研究機構（道総研）の技術支援制度（7項目）を利用された大学、企業、団体等	調査開始月末時点において、特許等実施契約を締結している企業等
調査方法	Web アンケート方式もしくは直接送付により実施した。		
実施期間	令和3年4～6月	令和3年4月～12月	令和4年1月～2月

※【各調査項目の説明】

○共同研究

技術の向上や製品開発等を希望する企業等からの依頼により、道総研と企業等とが知識・技術・ノウハウ等を持ち寄り、共同で行う研究

○受託研究

道以外の行政機関や企業、団体等の外部機関からの依頼により、契約又は寄附により実施する研究

○技術支援（対象：技術相談、技術指導、設備使用、技術開発派遣指導、課題対応型支援、研修生の受入、視察・見学）

地域や企業等の製品・研究開発の支援や、企業等の技術者や地域産業の担い手、大学等の学生の育成支援を目的として、これまでの道総研の研究成果や知見、公知の情報等を用いて、道総研の施設内または施設外において、技術的な問題の解決に向け指導・支援する制度

○知的財産

道総研が保有する特許権や実用新案権等

◆回答状況

(1) 道民意見把握調査

調査対象	回答数
道民向けイベント参加者	86
企業向けイベント参加者	144
市町村	270
関係団体	37
合計	537

※道民向けイベント

公開デー、道民向けセミナー等

※企業向けイベント

成果発表会、企業向けセミナー等

(2) 利用者意見把握調査

調査項目	配布数	回答数	回答率(%)
共同研究・受託研究	82	80	97.0
技術支援	—	59	—
知的財産	7	6	85.7

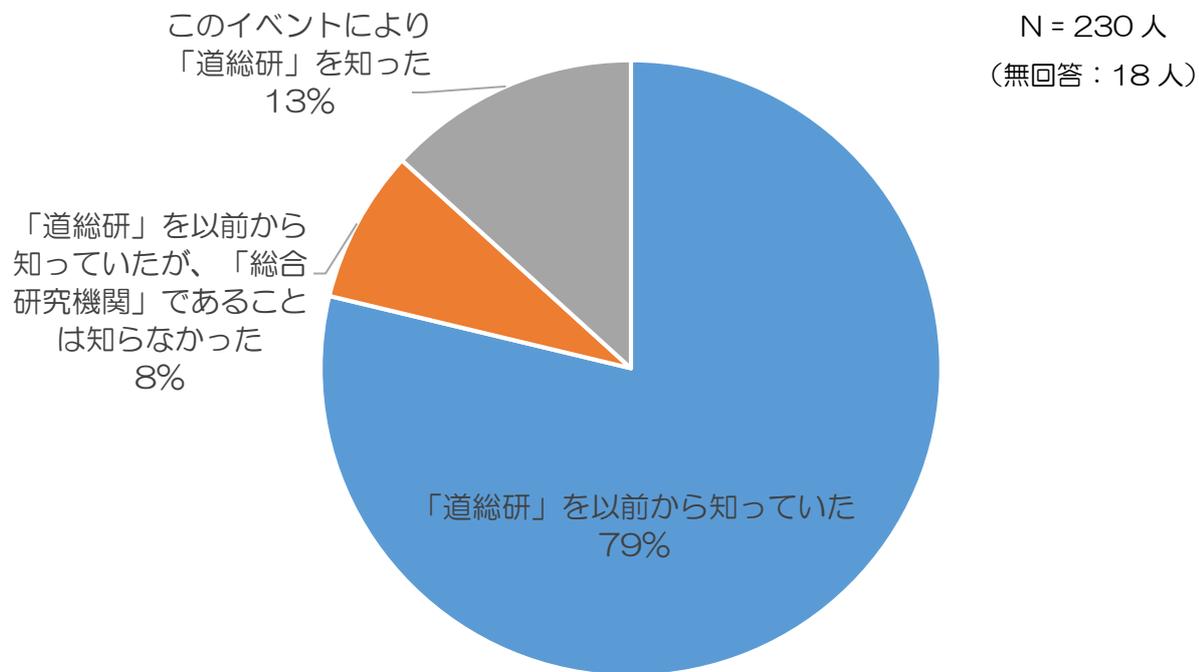
※技術支援のアンケート配布数は未集計

1. 道民意見把握調査

【問1 「道総研」は、農業・水産業・林業・工業・食品産業・環境・地質・建築の各分野に関する研究や技術支援等を行う22の道立試験場等を統合して発足した「総合研究機関」です。

「道総研」をご存知ですか。】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

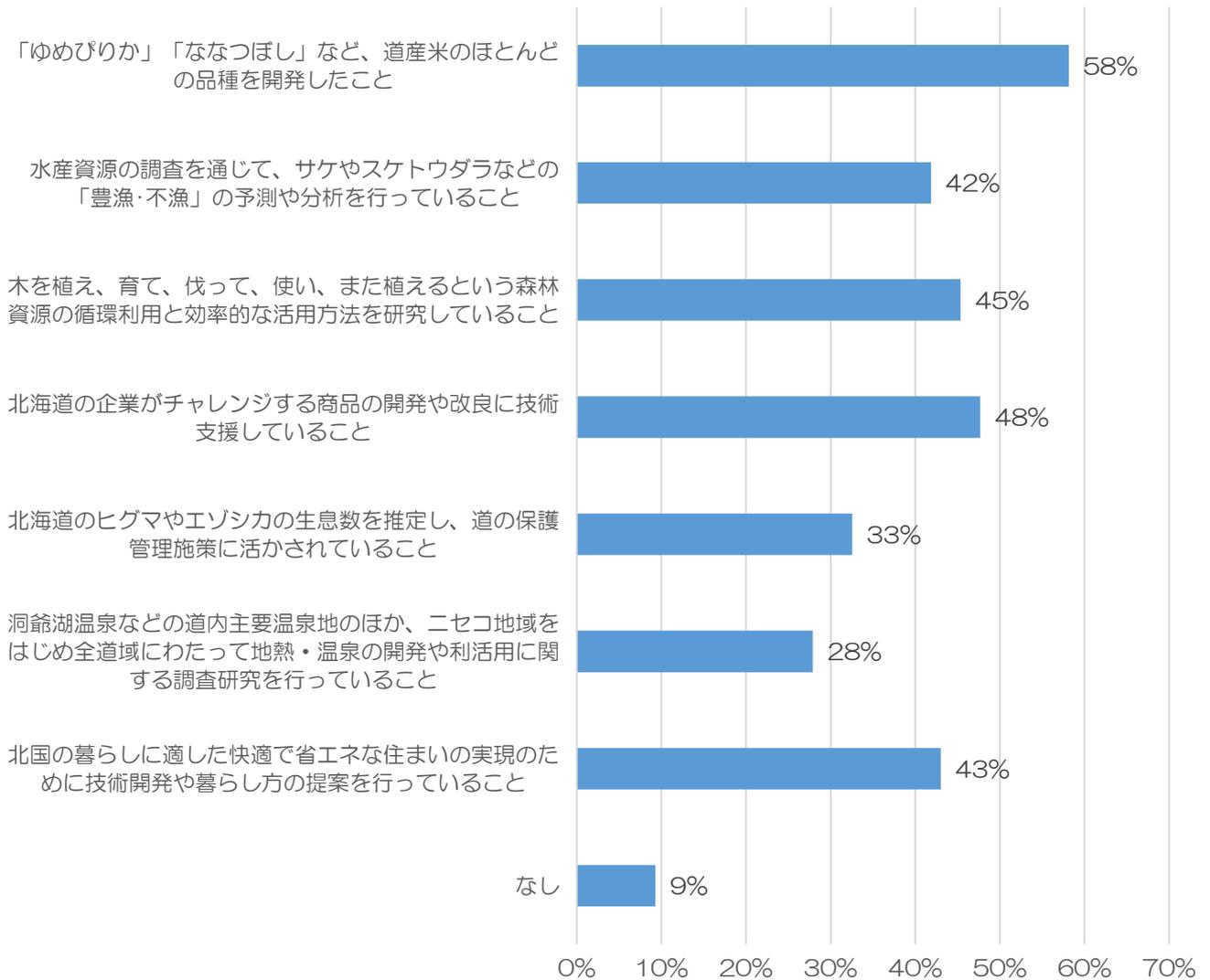


- 道総研が総合研究機関であることの認知度（『道総研』を以前から知っていた」と回答した人の割合）は、79%。
- 道総研の認知度（『道総研』を以前から知っていた」及び『道総研』は知っていたが、『総合研究機関』であることは知らなかった」と回答した人の割合）は、87%。

【問2 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

〔道民向けイベント参加者〕

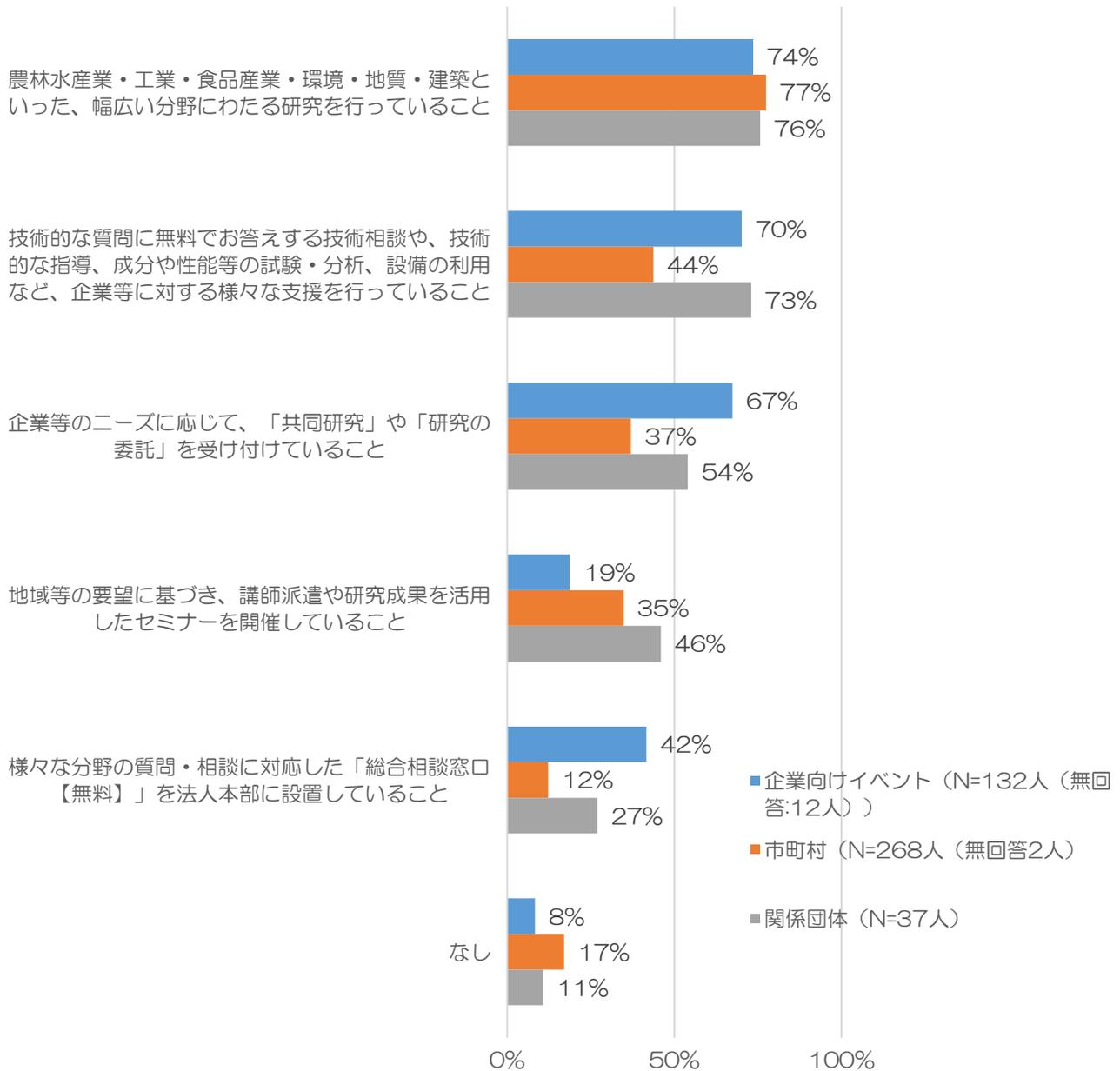
N=77人
(無回答:9人)



- 最も認知度が高い取組は、「道産米の品種開発」で、58%。
- 最も認知度が低い取組は、「地熱・温泉の開発及び調査研究」で、28%。

【問3 「道総研」の次の取組のうち、ご存知のものはありますか。(複数回答可)】

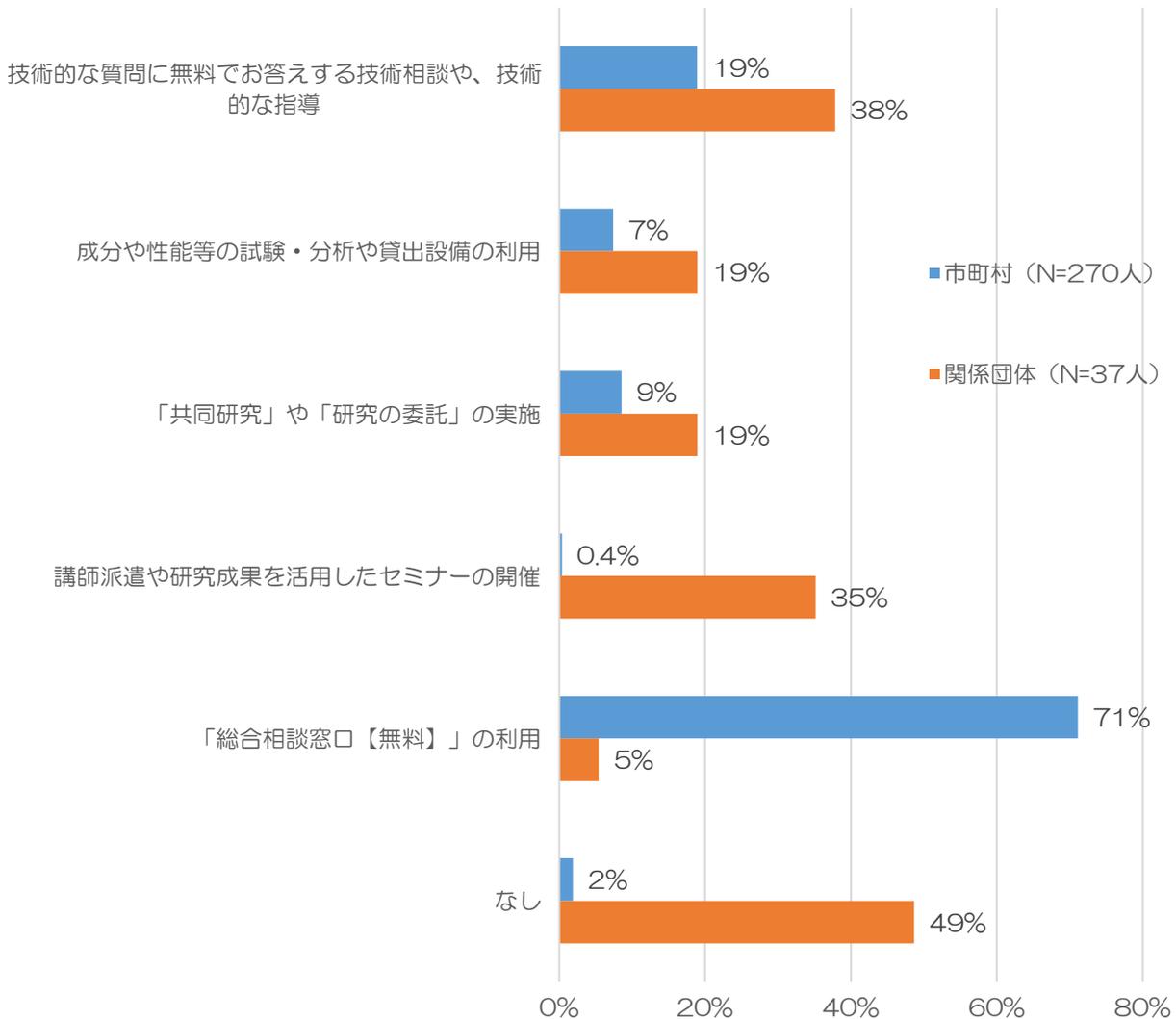
〔企業向けイベント参加者、市町村・関係団体〕



- 最も認知度が高い取組は、「幅広い分野にわたる研究」で、企業向けイベント来場者が 74%、市町村が 77%、関係団体が 76%。
- 最も認知度が低い取組は、企業向けイベント来場者が「セミナーを開催していること」で 19%、「総合相談窓口」で市町村が 12%、関係団体が 27%。

【問4 「道総研」の次の取組のうち、活用したことがあるものはありますか。(複数回答可)】

〔市町村・関係団体〕

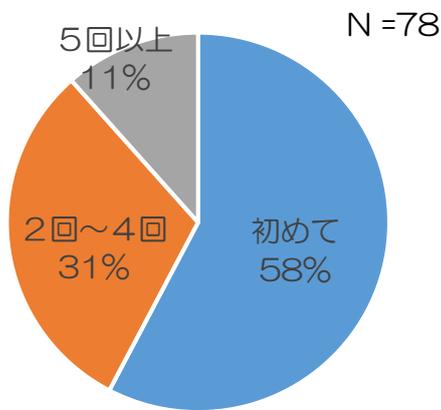


- 最も活用したことがある取組は、市町村が「『総合相談窓口【無料】』の利用」で71%、関係団体は「技術的な質問に無料でお答えする技術相談や技術的な指導」で38%。
- 最も活用したことがない取組は、市町村が「講師派遣や研究成果を活用したセミナーの開催」で0.4%、関係団体は「『総合相談窓口【無料】』の利用」で5%。

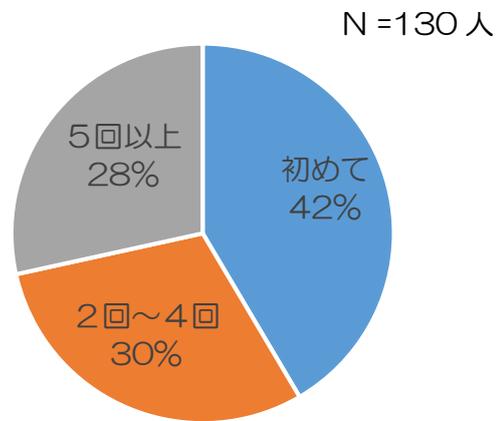
【問5-1 道総研のイベントに参加するのは、何回目ですか。】

〔道民・企業向けイベント参加者〕

＜道民向けイベント＞



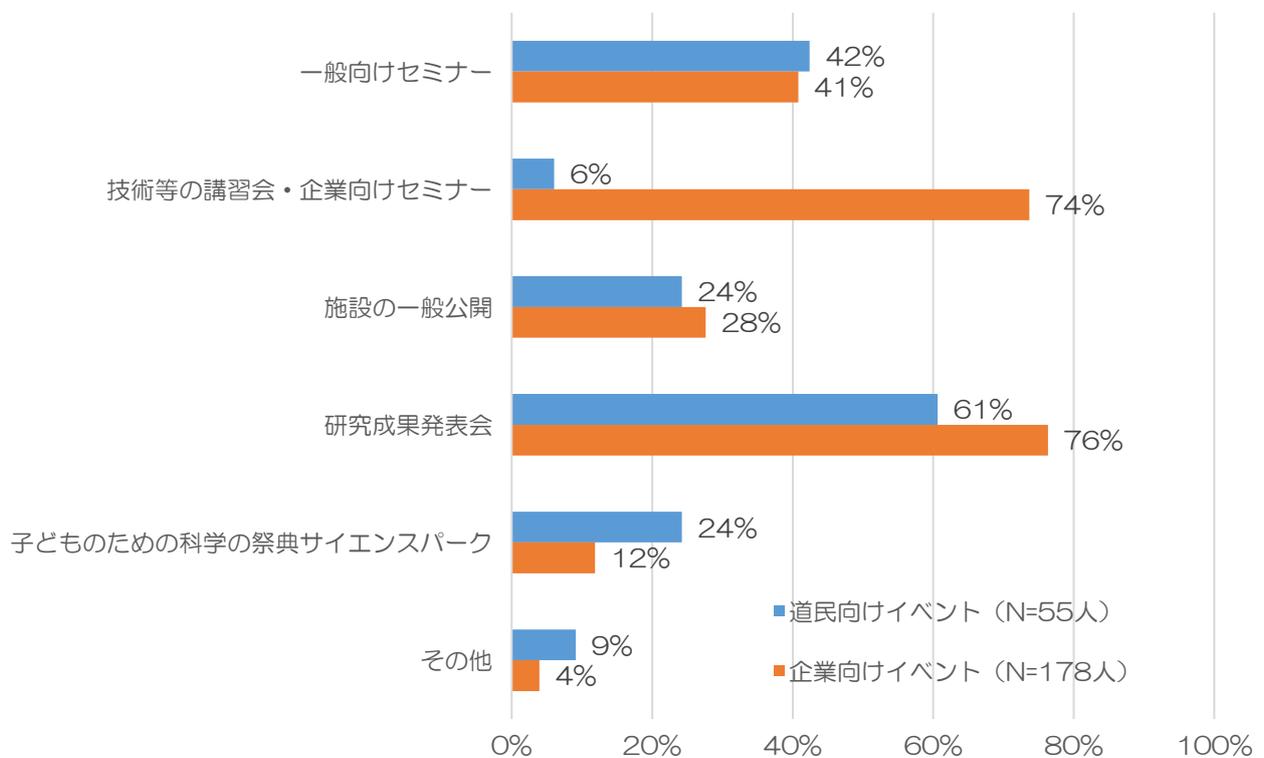
＜企業向けイベント＞



- 各イベントで初めて参加する方が多く、道民向けイベント参加者では 58%、企業向けイベント参加者では 42%。

【問5-2 過去に参加したイベントはどれですか。(複数回答可)】

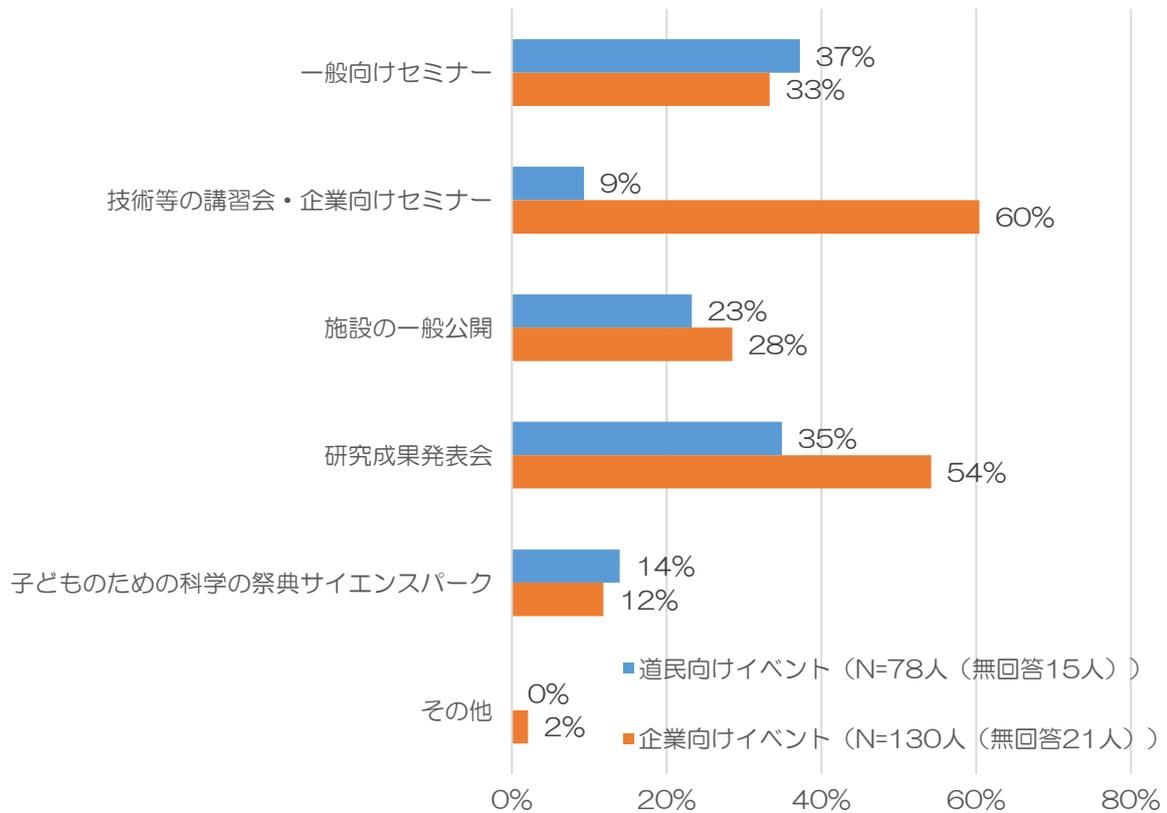
〔道民・企業向けイベント参加者〕



- 過去に参加したことのあるイベントについて、道民向けイベント参加者では「一般向けセミナー」が 42%、「研究成果発表会」が 61%、企業向けイベント参加者では「一般向けセミナー」が 41%、「研究成果発表会」が 76%。

【問6 どのようなイベントに参加してみたいですか。(複数回答可)】

〔各イベント参加者〕



- 「参加してみたい」とした方が最も多いイベントは、道民向けイベント参加者では「一般向けセミナー」が37%、企業向けイベント参加者では「技術等の講習会・企業向けセミナー」が60%。

<参加してみたい理由等(抜粋)>

●一般向けセミナー

道民向け	面白そうなテーマが多いから
	道総研についてもっと知りたいため
	専門的なことはわからないため。一般的な内容、活動が分かるセミナーが気になる
企業向け	興味のあるテーマに関わる情報収集のため
	自主的に触れてこなかった分野にも参加することで興味を持てるため
	研究者が考える未来を定期的に聴講してみたい

●施設の一般公開

道民向け	どのような施設か見てみたい
	研究施設に興味があるから。実験の体験をしてみたい

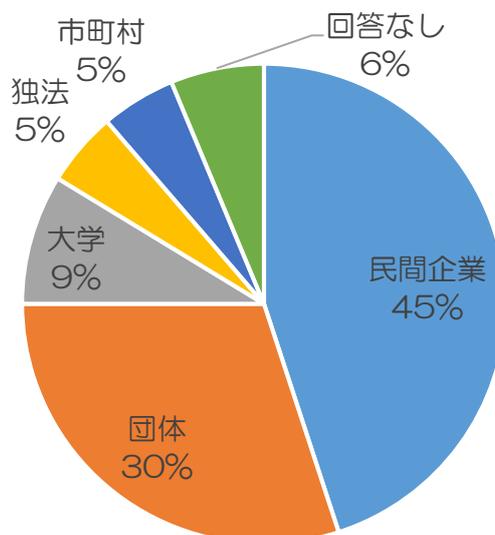
企業向け	あまり見る機会が無いため。できれば、一般公開とは別に企業・機関向けの公開があると良いと思う。
------	--

●研究成果発表会

道民向け	研究内容を勉強したい
	具体的な取組がわかるため
	農業に興味があり、新しい知識を得たいから
企業向け	技術情報の収集、技術・知識の向上のため
	道内企業の技術ニーズなどを把握するため

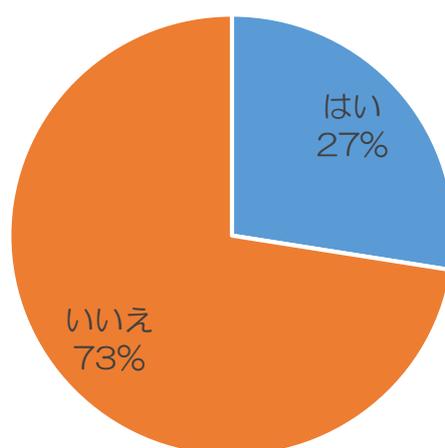
2. 利用者意見把握調査（共同研究・受託研究）

【回答者属性】



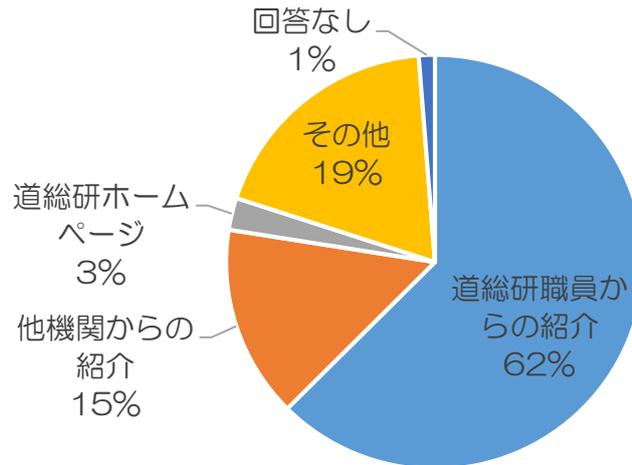
- 「民間企業」が45%（36機関）であった。
次いで、協議会、工業会等の「団体」が30%（24機関）、「大学」が9%（7機関）であった。

【問1 共同研究・受託研究を行ったのは初めてですか？】



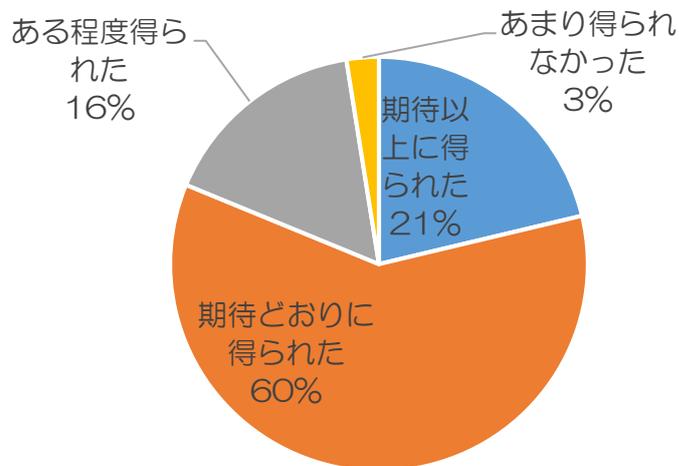
- 「いいえ」が73%（58機関）であった。

【問2 道総研が共同研究・受託研究を受け入れていることを知ったきっかけは何でしたか？】



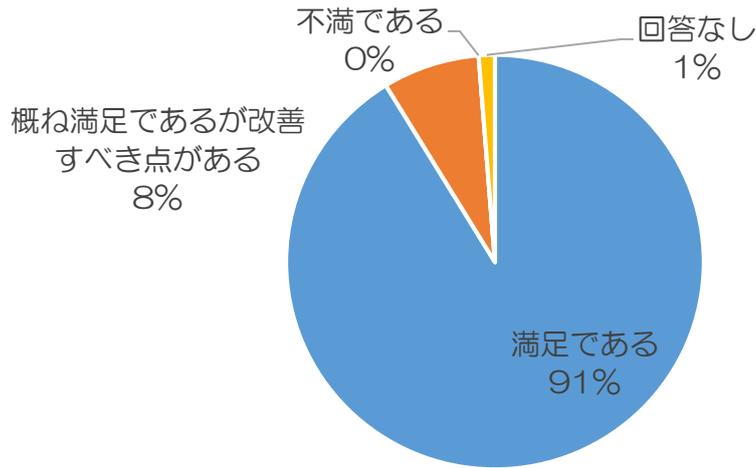
- 「道総研職員からの紹介」が62%（50機関）であった。次いで、「他機関からの紹介」が15%（12機関）、「道総研ホームページ」が3%（2機関）であった。

【問3 今回の共同研究・受託研究で期待した成果が得られましたか？】



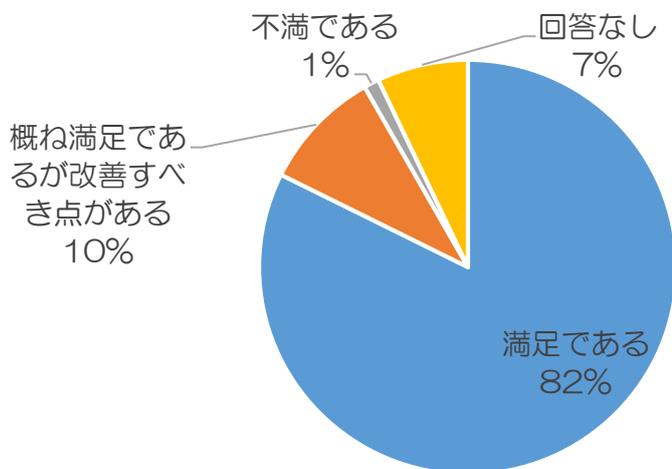
- 「期待どおりに成果が得られた」が60%（48機関）、「期待以上に成果が得られた」が21%（17機関）であり、あわせて81%（65機関）であった。
- 「ある程度得られた」が16%（13機関）であった。「あまり得られなかった」が3%（2機関）であった。

【問4 共同研究・受託研究に関する契約事務（事前打合せ～締結）はいかがでしたか？】



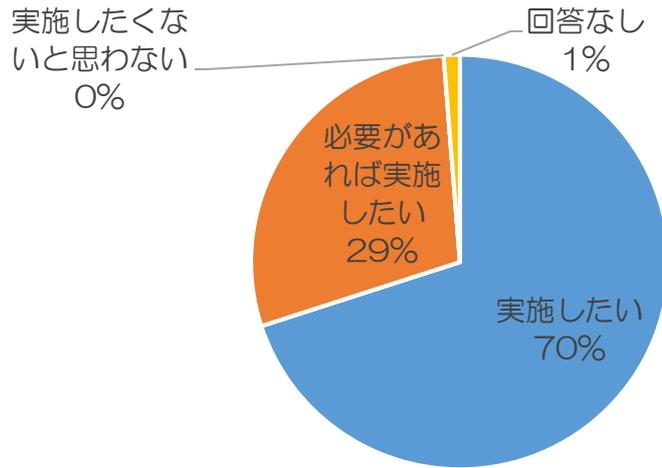
- 「満足である」が91%（73機関）であった。
「概ね満足であるが改善すべき点がある」が8%（6機関）であった。

【問5 共同研究・受託研究における打合せ・進捗状況報告・成果報告など道総研とのコミュニケーションはいかがでしたか？】



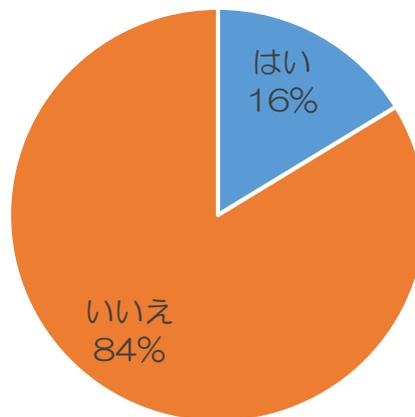
- 「満足である」が82%（70機関）であった。
「概ね満足であるが改善すべき点がある」が10%（8機関）であった。

【問6 今後も、道総研の研究機関と共同研究・受託研究を実施したいと思いますか？】



- 「実施したい」が71%（56機関）であった。「必要があれば実施したい」29%（23機関）とあわせると99%（79機関）となる。

【問7 道総研の研究機関と共同研究・受託研究について他の方にご紹介されたことはありますか。あるいは興味を持っている方はいらっしゃいますか。】

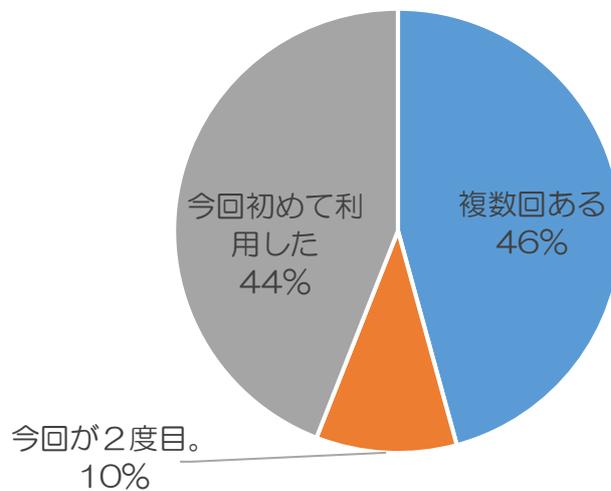


- 「いいえ」が84%（67機関）であった。
- 「はい」が27%（13件）であり、社内関連部署、大学教員、市町村の第三セクターの紹介であった。

3. 利用者意見把握調査（技術支援制度）

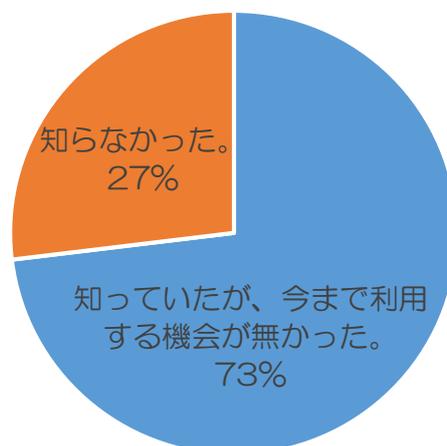
【問1 今までも、道総研の技術支援制度を利用したことがありますか？（利用経験）】

N = 59人



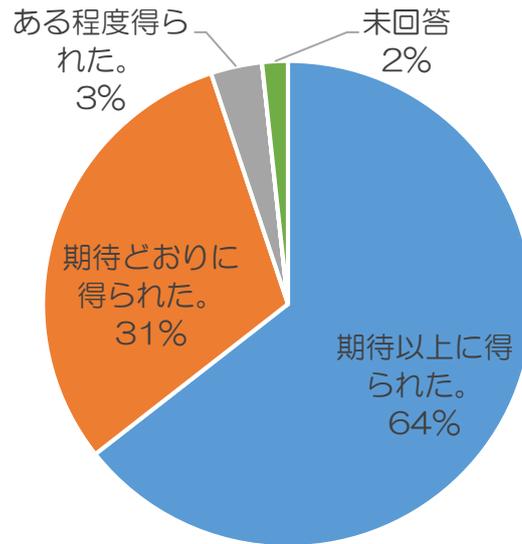
- 「今回初めて利用した」が44%（26件）であった。
「今回が2度目」が10%（6件）、「複数回ある」が46%（27件）であった。

【問2 今回初めて利用された方は、以前から道総研をご存知でしたか？（認知）】



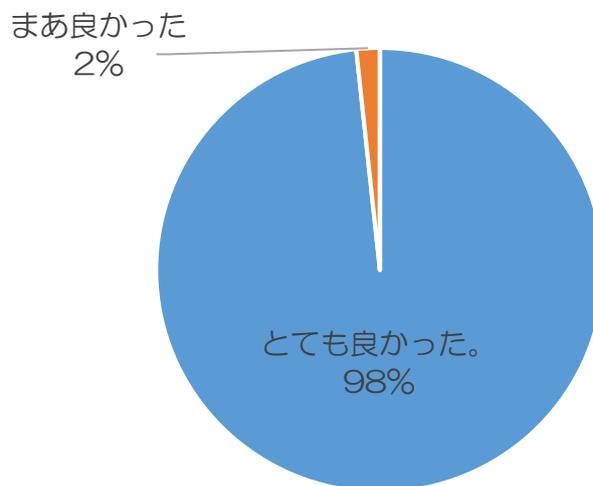
- 「知っていたが、今まで利用する機会が無かった」が73%（19件）であった。
「知らなかった」が27%（7件）であった。

【問3 今回の技術支援につきまして、満足のいく支援が得られたと思いますか？（評価）】



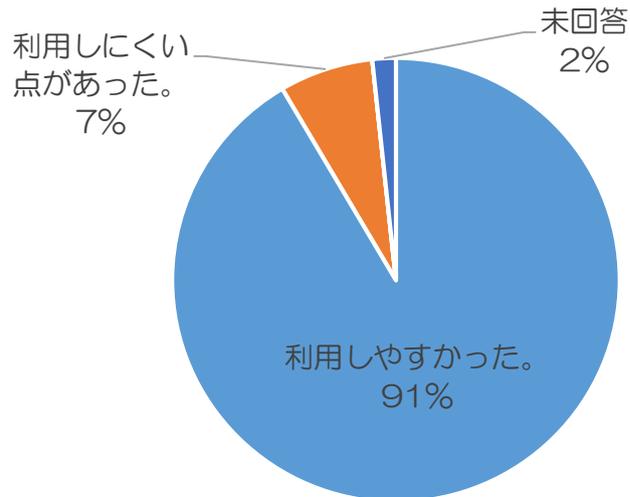
- 「期待以上に得られた」が64%（38件）、「期待通りに得られた」が31%（18件）、「ある程度得られた」が3%（2件）であった。
- 「あまり得られなかった」「得られなかった」との回答はなかった。

【問4 職員の対応はいかがでしたか？（職員対応）】



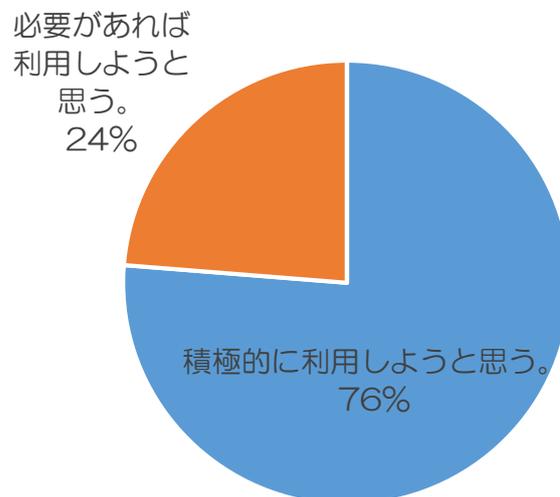
- 「とても良かった」が98%（58件）、「まあ良かった」が2%（1件）であった。
- 「普通だった」「あまり良くなかった」「良くなかった」との回答はなかった。

【問5 技術支援について、手続き等、利用しやすさはいかがでしたか？（改善要望）】



- 「とても良かった」が91%（54件）であった。
- 「利用しにくい点があった」が7%（4件）、「利用しにくかった」、「改善すべき点がある」との回答はなかった。
- 内訳としては、「手続きの煩雑さ」が1件（設備仕様・林産試）、「手続きにかかる時間」が1件（技術相談・林産試）、「相談する部署が分かりにくい」が3件（技術指導・中央農試/上川農試、視察見学の受入・北総研）であった。

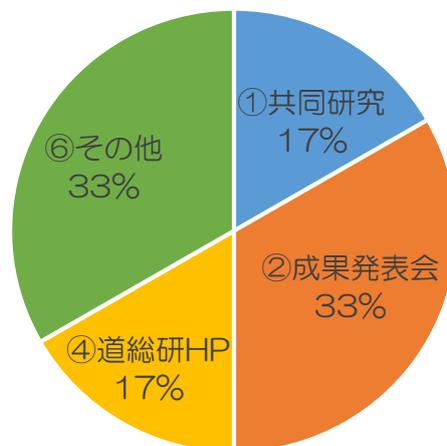
【問6 今後も、道総研を利用しようと思いますか？（継続利用）】



- 「積極的に利用しようと思う」が76%（45件）、「必要があれば利用しようと思う」が24%（14件）であった。
- 「あまり利用しようと思わない」「多分利用しないと思う」との回答はなかった。

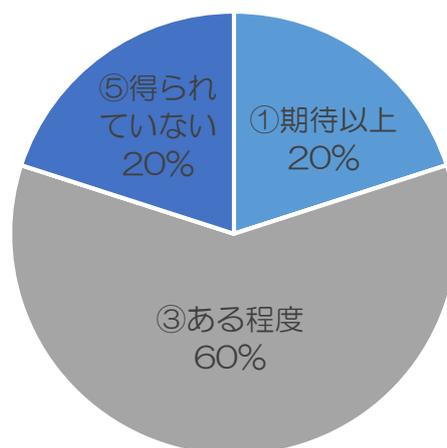
4. 利用者意見把握調査（知的財産）

【問1 現在ご利用の知的財産権はどのように知りましたか（新規契約先）】



- 「成果発表会」が33%（2件）、「その他」（道総研の機関誌、担当者の紹介）が33%（2件）であった。
- 次いで、「共同研究」が17%（1件）、「道総研HP」が17%（1件）であった。

【問2 知的財産を利用して満足いく成果が得られていますか（新規契約先）】



- 「ある程度得られている」が60%（3件）であった。
- 次いで、「期待以上」が20%（1件）、「あまり得られていない」が20%（1件）であった。

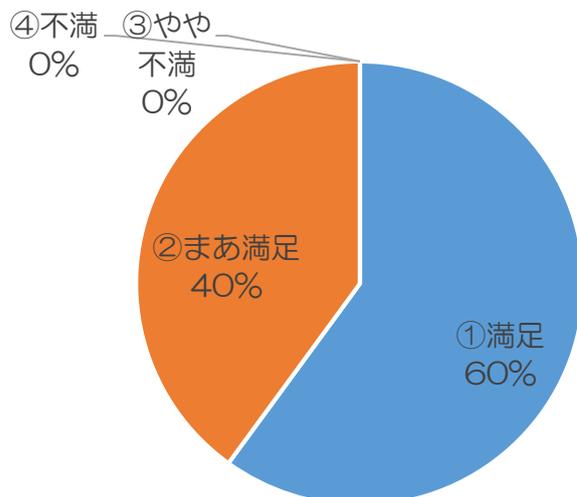
【問3 知的財産権を利用して満足いく成果が得られましたか（契約満了先）】

○ 未回答（1件）

【問4 契約満了となった実施契約について、契約を更新しなかった理由を教えてください（契約満了先）】

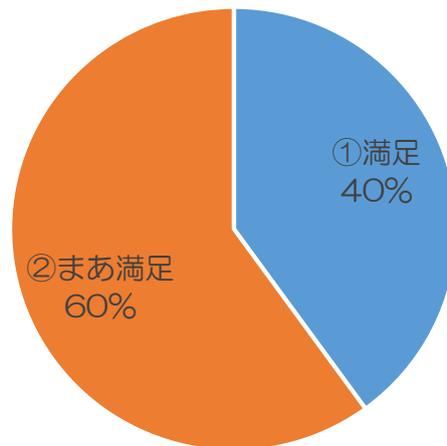
○ 未回答（1件）。

【問5 実施契約に関する事務について（1）手続の進め方(打ち合わせなど)について（新規契約先）】



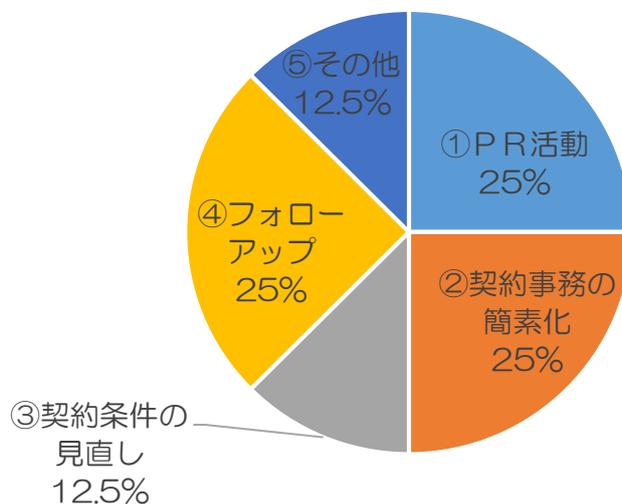
- 「満足」が60%（3件）であった。
- 次いで、「まあ満足」が40%であった。
- 未回答（評価できない）が1件であった。

【問5 実施契約に関する事務について（2）契約条件について（新規契約先）】



- 「満足」が40%（2件）であった。
- 「まあ満足」が60%（3件）であった。
- 未回答（評価できない）が2件であった。

【問6 道総研が保有する知的財産について、より利用しやすいものにするためには、何が必要だと思いますか（複数回答可）】



- 「PR活動」及び「フォローアップ」、「契約事務の簡素化」が25%（2件）であった。
- 次いで、「契約事務の簡素化」が12.5%（1件）、その他が12.5%（1件、内容：加工設備の短期利用）であった。